

2022 年度後期 START プログラム 事後レポート

所属学部・学科・学年	文学部 人文学科 2年
------------	-------------

<p>(1) START プログラムに参加して何を学んだか、この経験を今後どのように活かしていきたいか</p>
<p>今回の START プログラムでは、言語の壁があっても諦めず理解しようとするのが大切なのだと学びました。中国語で宗教や神話に関する専門的な内容の講義を受けることは先生の通訳があってもなお大変でした。ただ、私の立てたプログラム中の目標の一つが学んできた中国語を生かすことだったので、少しでも中国語で授業を理解したいと思い、台湾の教授が話す中国語に耳を傾けていました。すると所々聞き取れる単語があり、隣に座ってくれていた台湾の学生にこれってこういうこと？と確認しながら授業を聞いてくようになりました。そうしてほとんど聞き取れなかったはずの内容も僅かながら理解できた時にはこんなに「わかる」ということが嬉しいものなのかと思いました。少しでも興味を持って他の人に助けてもらいながらも理解しようとしたことは私の力になったと思います。今後専攻の英米文学語学について学ぶために英語圏への長期留学を考えており、その際にも言語の面で苦悩する場面が出てくると思いますが、今回の台湾での「わかる」ことの楽しさを忘れず、現地での講義に必死についていきたいと思っています。</p>
<p>(2) プログラム内容についての全体的な感想</p>
<p>今回の START プログラムで一番印象に残っているのは台湾の学生の温かさや学びの意欲の高さです。学期が始まって通常の授業があり忙しいにもかかわらず、一緒に授業を受けるだけでなく、授業のあとも夕食に連れて行ってくれたり街を案内してくれたり、台湾での滞在を楽しませてくれました。他愛ない会話から日本と台湾の大学生活の違いなど話すことができ交流を深められました。そして、学びへの姿勢についても見習いたいと感じることがありました。授業の一環で学外へのフィールドワークで廟を訪れた際に廟の中にあつた像について同じグループの学生に質問すると、その像だけでなく関連する媽祖巡礼という行事についても教えてくれました。持っている知識もさることながらそれを説明したり学生同士で話し合う姿に刺激を受けました。台湾の学生からの説明を受け、台湾では媽祖が篤く信仰されていると事前に知ることができたので、その後の見学旅行で訪れた媽祖が祀られている天后宮を非常に興味を持って見学できました。私も台湾の学生のように自分の専攻についてもっと詳しく勉強し、もし日本に来る留学生と関わる機会があれば同じように出来る限りのもてなしをしたいと思うようになりました。</p>

(3) 今後 START プログラムに参加する後輩へのアドバイス

START での講義については、行った先の大学で勉強する内容を渡航前に少しでも調べておくと現地に関心を持って授業を受けられると思います。台湾では、台湾の宗教や信仰、日本の神話や仏閣について学びましたが、日本の信仰についてであってもよく知らなかったり忘れていたりするので、あらかじめ復習したり勉強し直していれば理解しやすくなるのではないかと思います。渡航前の準備に関して言うと、前日しっかりと休めるように荷造りやお土産の準備は遅くとも 2, 3 日前にしておくと思います。私は渡航の直前に他の予定を入れてしまっていて荷造りやお土産の準備を直前にすることになったため、前日にしっかりと休むことができませんでした。幸い体調が崩れることはありませんでしたが、せっかくの台湾での滞在を思う存分充実させるためにも、少しの余裕を持って準備することが大切だと感じます。

2023 年度後期 START プログラム 事後レポート

所属学部・学科・学年	法学部法学科 1 年生
------------	-------------

(1) START プログラムに参加して何を学んだか、この経験を今後どのように活かしていきたいか

Start プログラムで台湾を訪れ、東アジアの伝統文化に触れた貴重な経験から多くを学びました。台湾の食文化や生活についての理解が深まり、異なる文化への好奇心も刺激されました。地元の人々との交流を通じて柔軟性や適応力を発見し、異なるバックグラウンドを尊重する重要性を学びました。これらのスキルは将来、異なる環境で協力する上で役立つと思います。国際的な視野を持ち、異なる文化を尊重する意識を醸成することが今後の目標です。この経験から得た知識やスキルを、将来のキャリアや人生において活かし、持続可能な発展に貢献していきます。

(2) プログラム内容についての全体的な感想

Start プログラム全体を通して、台湾の寺や食文化に触れる機会を得て非常に充実した経験となりました。まず、寺を多く回ることで、台湾の豊かな歴史と文化に触れ、その深い精神性に感動しました。寺院の建築や仏教の実践について学ぶことで、台湾の人々が宗教や伝統をどのように大切にしているかを理解しました。これは、異なる宗教や文化への理解を深め、多様性を尊重する視点を養う上で非常に価値ある経験でした。

また、プログラム中に台湾の食文化に触れることもでき、これは私にとって特に興味深い部分でした。現地の市場や食堂を訪れ、伝統的な料理や地元の食材に触れることで、食文化が台湾社会に与える影響を理解しました。食べ物は文化や歴史を反映するものであり、それを通じて台湾の人々の生活様式や価値観にも一層触れることができました。地元の方々との交流を通して、料理に込められた思いや伝統的な調理法について学ぶことは、理論だけでは得られない実践的な知識を得る機会となりました。

総じて、プログラムは文化や歴史への理解を深め、異なる習慣や価値観に触れる素晴らしい機会となりました。台湾の寺や食文化を通じて得た知識や経験は、将来の国際的なコミュニケーションや協力において大いに役立つものであると感じています。これらの体験が私の視野を広げ、異文化理解を深める上で不可欠な一歩となりました。

(3) 今後 START プログラムに参加する後輩へのアドバイス

まず、オープンマインドでプログラムに臨むことが大切です。新しい文化や習慣に対して柔軟な考え方をもち、違いを受け入れることで、より深い学びと経験が得られます。プログラム中には様々なチャレンジがあるかもしれませんが、それを乗り越えることで自分の成長を感じられると思います。

次に、積極的に地元の人々と交流することをお勧めします。彼らとの対話や交流を通じて、現地の文化や価値観をより深く理解できます。これがプログラムの醍醐味であり、新たな視点を得ることで自分自身も成長できると思います。

また、チームワークが不可欠です。プログラムはグループで進行されることが多いですが、協力し合い、お互いにサポートすることでより豊かな経験が得られます。異なるバックグラウンドを持つメンバーとの協力は、異文化コミュニケーションのスキルを向上させます。

最後に、自分の目標や興味を持ちながらプログラムに参加することが重要です。自分が何を学び、得たいかを意識的に持つことで、プログラムをより有意義に過ごすことができます。これらのアドバイスを心に留めつつ、START プログラムを十分に楽しんで、充実した経験を得てください。